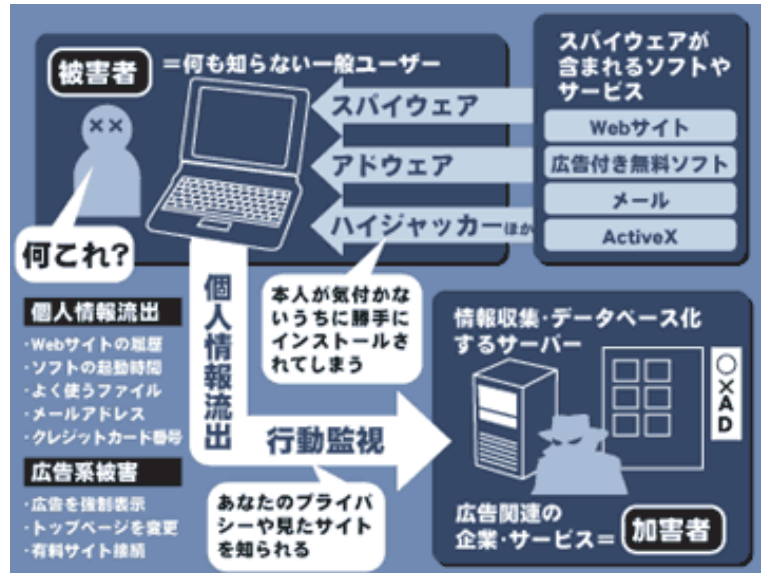


スパイウェアで情報が漏れる！

スパイウェアとは・・・

「何もしていないのに勝手にポップアップ広告が出る」「操作していないのになぜかADSLのモデムランプがチカチカしている」。こんな症状が出るパソコンには、スパイウェアが潜んでいる可能性が多いにあります。気付かないうちに、勝手に個人情報が盗まれているかもしれません。

スパイウェアとは、本人の知らないうちにパソコン内部に忍び込み、個人情報を流したり設定変更などの被害を与えるソフトやサービスのことです。ここ1～2年で爆発的に増えており、インターネットに接続しているパソコンの半数以上に忍び込んでいるといわれています。



どんな情報が盗まれる？

スパイウェアがあるとパソコンの操作が筒抜けになってしまいます。どんなWebサイトを見たか、使っているソフト名やファイル名・住所やメールアドレスなどといった個人情報が記録され、企業側に送信されています。スパイウェアを撃退しない限り、個人情報流出は続きます。

ウイルスとどう違う？

ウイルスは個人がイタズラ目的で流すものですが、スパイウェアは企業がビジネスのために忍び込ませます。またウイルスは感染して広がりますが、スパイウェアは感染して広がることはなく、Webサイトや無料ソフトなどを通じてユーザーのパソコンに侵入します。

違法か？合法か？

スパイウェアの一部（アドウェア）は、ソフト導入時の「使用許諾条件」や「プライバシー条項」などで、個人情報を集めることを明記しており違法ではありません。しかし、使用許諾条件を読まない人が多く、知らないうちにインストールされてしまっています。

スパイウェアとアドウェアの違い

スパイウェアもアドウェアは、どちらも個人情報収集するものです。ユーザーの同意を得ていれば「アドウェア」となり、内緒でこっそりと情報を集めているものは「スパイウェア」と呼ばれます。

※市販されているスパイウェア対策ソフトなどを使って駆除していきましょう。

編集者より：上記の他にもブラウザの設定を乗っ取ったり、有料ダイヤルに接続させるなど悪質なスパイウェアもあります。気を付けましょう(田中)